

神話伝説の山里

「高千穂郷」通信



平成17年11月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.35



宮神楽(みやかくら) 氏神様をまつる神社で神事、鎮守を奉納します。



夜神楽が始まりました



道行き(みちゆき) 神社から御神体とともに神楽宿へと向かいます。



夜神楽は、神楽宿(一般的には地元の民家)で夕方から翌日の昼ぐらいまで33番の神楽が奉納されます。

「みやざきグリーン・ツーリズムシンポジウムinごかせ」

都市住民が農山漁村に滞在しながら、地域住民との交流の中で豊かな自然に触れたり、農村の生活を実際に体験するグリーン・ツーリズムをテーマにした研修会を、十月二十七日、二十八日の二日間、旧桑野内小学校跡地で開催しました。

グリーン・ツーリズムに取り組んでいる農林漁業者や行政関係者等、約百五十人が参加。松村広一さんの基調講演、後藤福光さんの事例発表、パネルディスカッションが行われました。



「身の丈にあった交流の継続で地域に自信と誇りを」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

- ・日本人の人情、人の良さが最後まで残るのは宮崎だと思っている。
- ・開発しない開発。開発しなければならぬのは住民の意識。損得勘定を持たないこと。
- ・地元の高齢者の技と知恵をいかに次世代に引き継ぐかが課題。米作りや、農園づくりなど。
- ・よそのまねをしないで、ゆっくりと取り組んでいきたい。
- ・五ヶ瀬ワイナリーとの連携をいかに図っていくかが重要である。



松村広一さん

[基調講演]「地域で取り組む”田舎で起業”のススメ」
松村 広一さん（農林水産省関東農政局農村計画部農村振興課長補佐）

- ・グリーン・ツーリズムの定義としては、農村側の農家はプライドを持ちサービス精神旺盛で、都市側の人々は自国の農業・農村に誇りを持って接する構図を育む社会システムであり、定着の間、行政が背中をそっと後押しする必要があるソーシャルツーリズムと考える。
- ・農村側にとっては、「自ら値段を付けることができるマーケット」の創出。
- ・都市側にとっては、「もう一つの自分社会を創造する旅」であり「居場所づくりの旅」
- ・福島県山都町のそばG Tビジネスや三重県いなべ市の農作業受託システムを紹介。



後藤福光さん

[事例発表]「おかえりなさい ふるさと五ヶ瀬でこころのやすらぎを」
後藤 福光さん（夕日の里づくり推進会議 特別推進委員）

- ・平成5年に町がグリーン・ツーリズムモデル整備構想策定市町村の指定を受け、委員の一人として、桑野内のグリーン・ツーリズムに関わってきた。
- ・平成8年に、地域活性化を目指して「夕日の里づくり推進会議」を発足。
- ・平成8年から毎年、福岡などの都市住民と交流を深める「体験交流ツアー」や「夕陽の里フェスタ」を継続して実施してきた。
- ・グリーン・ツーリズムは都市と農村の共生。交流を通じて地域を活性化を図る。
- ・10年間の地道な取り組みにより、農村民泊を近々、12軒で開始する予定。

参加者による交流会や彫り物切りやわら細工の体験も行われました。

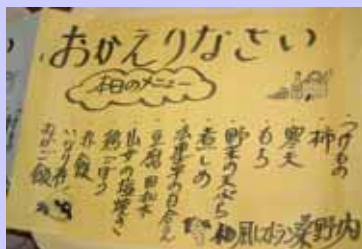
交流会は、夕日の里づくり推進会議郷土料理部会の手作りによる「四季の御膳」で行われました。



神楽を舞うときの神庭に飾る彫り物づくりに挑戦



わら細工でわら草履づくりを体験



興相洋一さんが農林水産大臣賞を受賞

～第59回全国茶品評会～

五ヶ瀬町桑野内の興相洋一さんは、10月28日に福岡県筑後市で開催された第59回全国茶品評会の釜炒り製玉緑茶部門において農林水産大臣賞(1等1席)を受賞されました。

興相さんは、「安全でおいしいお茶づくり」を目標に、減農薬栽培等に取り組みながら、味と香ばしさにこだわったお茶づくりを続けてきており、その絶え間ない努力が実を結びました。



興相さんの茶畑。後ろには阿蘇の山々が見えます。

今後とも、五ヶ瀬町茶業青年グループ「新緑会」の会長として、同会のメンバーとともに、釜炒り茶独特の味と香りを全国にPRしていただきたいと思ひます。



茶品評会表彰式の後に記念撮影。興相洋一さんは右から3番目、奥様の瞳さんは一番左。

飯干福重さんが農林水産大臣賞を受賞

～第44回農林水産祭参加全国林業経営推奨行事～

高千穂町押方の飯干福重さんは、第44回農林水産祭参加全国林業経営推奨行事において農林水産大臣賞を受賞されました。

飯干さんは、100年生以上の山づくりを経営の基本におき、皆伐は行わず間伐を繰り返すことで、林業で毎年安定的な収入をあげ、優良大径材の生産に努力されています。

さらに、飯干さんの林業の特徴としては、雨水が集中する谷筋を中心に保水能力の高い広葉樹を植栽するとともに、森林空間を有効活用するため、サカキを下草として植栽し、その下に山人参を栽培する工夫をしています。

今後、さまざまな取り組みを行いながら、地域の林業の先導的担い手として最先端でがんばっていただきたいと思ひます。



授賞式は、11月18日に東京都港区赤坂の三會堂ビルで行われました。



林道や環境に配慮した作業路の開設を長年に渡り実施した結果、林内路網が充実し、伐採した木を簡単に搬出することができます。

土砂災害危険箇所の基礎調査説明会

土砂災害から住民の生命を守るために、土砂災害が発生するおそれがある区域を明らかにし、

その中で警戒避難体制の整備や一定の行為の制限を行う土砂災害防止法に基づく土砂災害危険箇所の基礎調査説明会を開催しました。



西臼杵地区の説明会は、公民館など14ヶ所で実施しました。

玄武山トンネル防災訓練

国道325号田原バイパスの玄武山トンネル内における事故発生時の通報、情報収集及び事故処理等関係相互

の的確、迅速、円滑な防災体制の強化と併せて一般通行者の防災への意識の普及を図るため、

11月2日に実施しました。



トンネル内で交通事故が発生したという想定で、高千穂警察署、消防団等の協力を得て実施。

みやざき子育て応援キャラバン隊(県北地区)

みやざき子育て応援キャラバン隊が、日之影町第6回福祉まつりに合わせて、11月20日に同町保健センターで開催されました。

このイベントは、子育て家庭の親子と地域の子育てサークルや子育て支援関係者の出会いの場を創るとともに、子育てに関する相談の機会や情報を提供することを目的に開催しています。

会場では、西臼杵郡内の子育てサークル・子育て支援関係者7団体による活動発表やピエロのマジックショー、竹細工の実演等が行われました。

当日は天気にも恵まれ、親子連れから高齢者まで幅広い年齢層が来場し、大いに盛り上がりました。



日之影子育て支援実行委員会と子育てサークル「はっぴークラブ」



紙芝居「こうのとりの」

水フォーラム in 五ヶ瀬

10月23日

五ヶ瀬町は、豊かな自然に囲まれ、五ヶ瀬川の源流や九州島発祥の地と言われる祇園山からの湧水を有する等、きれいな水のある環境にあります。この素晴らしい環境を再認識し、各方面へ情報発信することを目的に実施されました。



講演を行った俳優の大村崑さん

杉田英治さん(鞍馬地域づくり会議)、岡本康定さん(西臼杵協同農産部)、梁瀬泰彦さん(ヤナセ緑化社長)、西本師子さん(五ヶ瀬川の豊穡を守る会)、畦原満英さん(高瀬漁協)によるパネルディスカッション

高千穂の家庭料理大集合~高千穂の今あるものを食べる~

11月20日

高千穂町は、日頃食べている高千穂の家庭料理を持ち寄ってもらい、試食を行うことにより、食材や食べ方を再認識するとともに食の掘り起こしを行うため、昨年に続いて実施しました。

また、「家庭、地域、日本の食卓の今を考える」をテーマに、島村菜津さん(ノンフィクション作家)、甲斐良治さん(現代農業編集主幹、高千穂町出身)、森千鶴子さん(森の新聞社)によるパネルディスカッションも行われました。



約200人が料理を持ち寄り、試食会には約300人が参加。

フォレストピア五感のつどい~夜神楽まつり~

11月5、6日

フォレストピアPIAと五ヶ村・浅ヶ部公民館の癒しの周遊空間推進協議会が開催しました。

地元の方と参加者が一緒になって彫り物や御幣をつくる夜神楽準備セミナーや夜神楽鑑賞、ものづくり工房などを訪ねる森林文化セミナーが行われました。



神楽料理のにしめ(この外に5町村から山菜おこわ、田菜、菜豆腐、竹の子寿司、椎茸寿司等ふるさとの味が集まりました。)



フォレストピア圏域5町村の神楽が大集合し、夜神楽まつりが行われました。

矢筈岳トロッコ道ウォーキング&鹿川文化を訪ねるツアー

11月5日

日之影町は、昭和27年に八戸から鹿川まで開通し、国有林の木材搬出に利用されていた森林軌道跡である「矢筈岳トロッコ道ウォーキングコース(約10.0km)」を利用したウォーキングと鹿川神楽など鹿川地区の文化に触れるツアーを実施しました。

町外から13名が参加されました。



お土産は鹿川地獲れの「あけび」



網の瀬川沿いを静かに歩きながら、矢筈岳の迫力ある景観や紅葉をたっぷり楽しむことができました。

編集後記

竹田市の竹灯籠を使った光の祭典「竹楽ちくらく」に行ってきました。11月18-20日の3日間で10万人を超える観光客が来たそうです。竹田市はもともと竹が豊富にありましたが、竹の需要の激減や過疎、高齢化で竹林の手入れが行われずに荒廃していました。そこで竹田市観光協会が現状を改善し、併せて観光浮揚策の一環として平成12年から城下町を竹灯籠でライトアップすることを企画しました。2万本の竹灯籠の準備は大変です。市民ボランティア等地域全体の協力連携で成功している竹楽は観光振興策のヒントになるのでは... 修

* 西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などがありましたら下記までご連絡ください。

お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760
URL http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html

第3回西臼杵森林まつり

10月22日

西臼杵森林組合(飯干徹組合長)の主催により、JA高千穂地区畜産部家畜市場(高千穂町三田井田口野)で開催されました。

木製プランターや本棚を手作りする木工教室、丸太切り競争、樹木名や材積あてクイズが行われ、約1,000人が来場しました。

また、杉材70本プレゼントがイベントの最後に行われ、日之影町の鶴留修二さんが当選されました。



樹木名当てクイズに挑戦する参加者